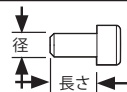


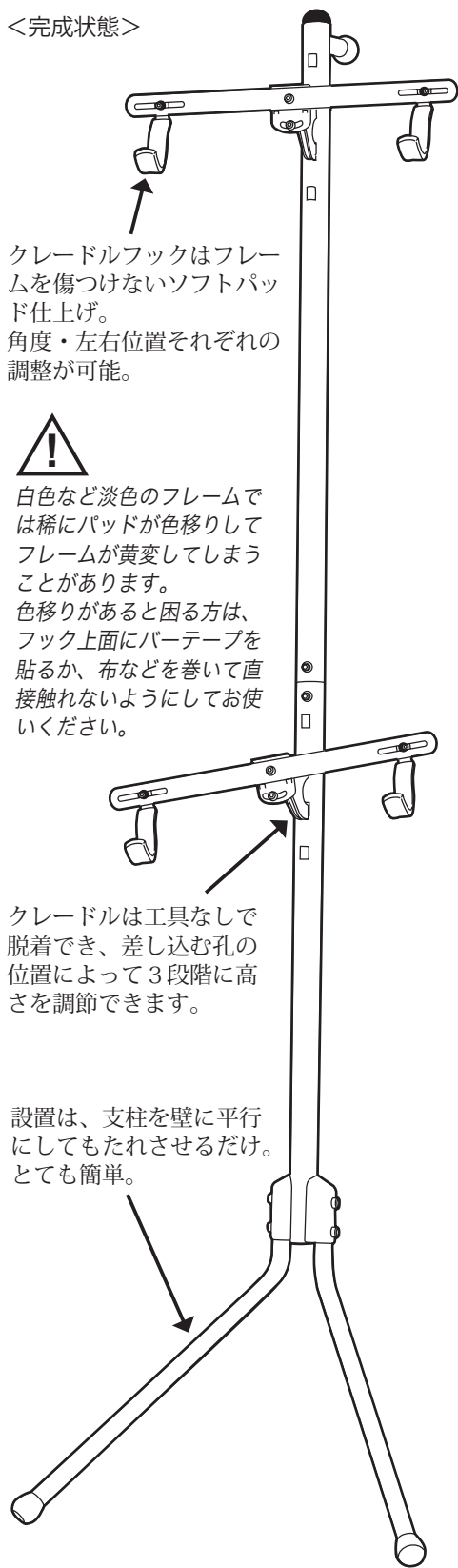
組立に必要な工具：M5 六角レンチ（添付）

<ボルトサイズの読み方>



例) M 6 x 30
径 長さ (単位：ミリ)

<完成状態>



クレードルフックはフレームを傷つけないソフトパッド仕上げ。角度・左右位置それぞれの調整が可能。



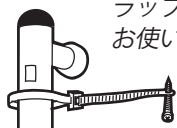
白色など淡色のフレームでは稀にパッドが色移りしてフレームが黄変してしまうことがあります。色移りがあると困る方は、フック上面にパーテープを貼るか、布などを巻いて直接触れないようにしてお使いください。

クレードルは工具なしで脱着でき、差し込む孔の位置によって3段階に高さを調節できます。

設置は、支柱を壁に平行にしてもたれさせるだけ。とても簡単。



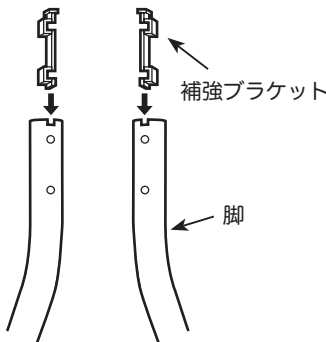
地震でも容易に倒れないように設計してありますが、万一の事故防止のため添付の樹脂タイラップで上部を壁面に固定してお使いください。



M3.5x15 または 25 ピス

1

補強ブラケットを脚の上部から挿入します。これを左右両方とも行ないます。

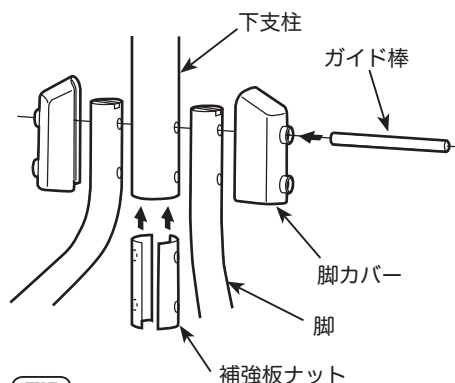


TIP

補強ブラケットは、ボルトを締め込んでもパイプが潰れないようにするためのものです。必ず使用してください。

2

下支柱の下側から補強板ナットを挿入し、樹脂カバーをかぶせた脚（左右とも）と下支柱とを、ガイド棒を挿入して位置決めします。下支柱は四角い孔があいている面が手前側です。脚は奥から手前に向けて曲がっているようにします。

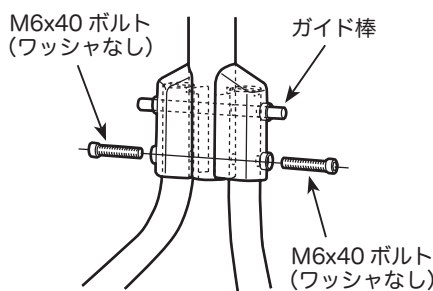


TIP

補強板ナットにはあらかじめ単品のうちに一度ボルトを通してネジを整えておくと、ボルトの斜めねじ込みを防止できます。

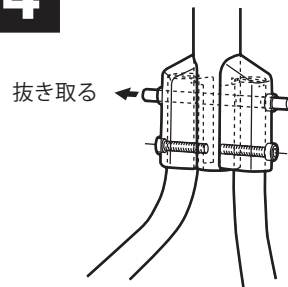
3

M6x40 ボルト 2本をガイド棒を挿入していない側の孔にねじ込み、両脚と下支柱とを軽く固定しておきます。（まだ本締めはしません）



4

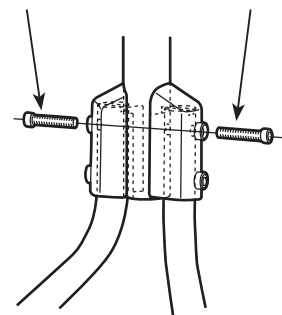
ガイド棒を抜き取ります。



5

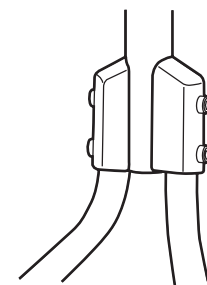
もう一方の孔にも M6x40 ボルトをねじ込みます。

M6x40 ボルト（ワッシャなし）



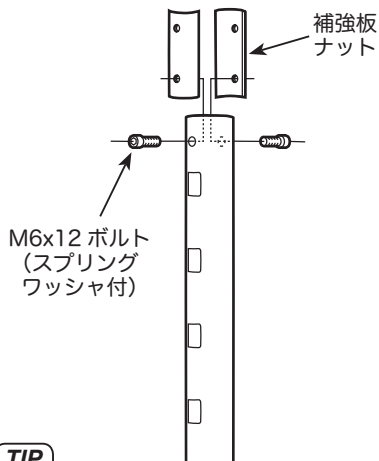
6

M6x40 ボルトを 4 本ともしっかりとねじ込みます。



7

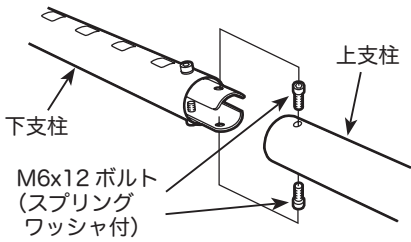
下支柱の上部の孔に補強板ナットを M6x12 ボルトで仮止めします。



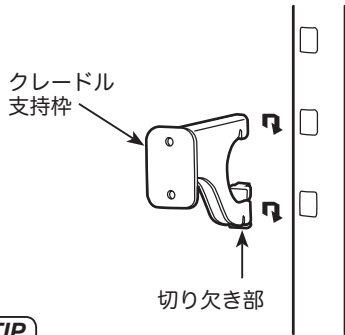
TIP

補強板ナットへのボルトねじ込みの際に、斜めにねじ込んでしまうとトラブルに注意してください。ボルトは回せるだけはまず指だけでねじ込んでいき、工具は最後の本締めの際だけに使うようにします。

8 取り付けした補強板ナットに上支柱を連結します。四角孔のある面を下支柱と同じ向きに揃えます。隙間なくつなげたら、M6x12ボルトをしっかりとねじ込んで固定します。

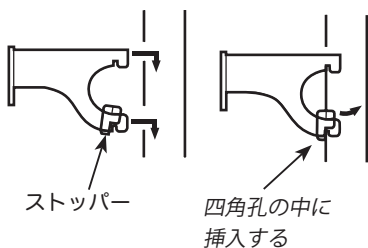


9 クレードル支持枠のフックを支柱の孔に挿入し、切り欠き部を上下とも四角孔の縁に掛けてから下向きに引き下ろして取り付けます。下側のフックが孔より広くて入れにくい場合は、指でつまんで狭めてから挿入します。



TIP クレードル支持枠のネジ孔にもあらかじめ単独でボルトを通してネジ山を整えておくと、斜めねじ込みのトラブルを防げます。

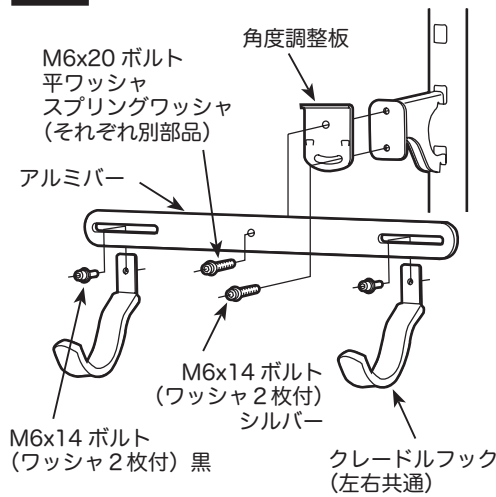
10 樹脂製ストッパーを支柱側にスライドさせて四角孔の中に挿入することで、クレードル支持枠が抜けないようにロックします。



クレードルの取り付け高さを変更するには、ストッパーを引き上げてロックを解除して行かないです。

! ストッパーを引き抜く際は、マイナスドライバーの先端などでストッパーの側面を引っかけて行ってください。素手で行なうと爪を剥がす恐れがあります。

11 クレードルを組み立てます。



角度調整板は長孔側を下側にします。クレードルフックはアルミバーの裏面から装着します。これはできるだけ自転車を傷つけないようにするためです。

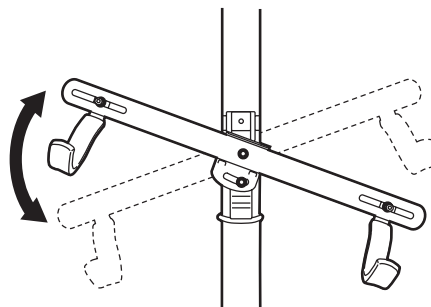
12 グラビティスタンドをしっかりと壁面にもたれさせます。支柱は横から見て壁面と平行、あるいはやや下側が上側よりも広くなるようにして設置してください。それから自転車のトップチューブをクレードルフックの上に静かに載せます。



スリップによる転倒を防ぐため、脚ゴムキャップと床の間には板や紙などは敷かないでください。滑り止め効果のあるカーペットは大丈夫です。

13 クレードルは、自転車のトップチューブの傾きに合わせてその角度を調整することができます。

角度調整板の下側のボルト（長孔側）を緩め、適切な角度になるまでクレードルを傾けてください。角度が決定したらボルトをしっかりと締め込んで固定します。



クレードルフックの間隔や角度もそれぞれ調整できます。お使いになる自転車に最適になるように調整してください。

注意していただきたいこと

- グラビティスタンドは、通常の2輪自転車専用のスタンドです。それ以外の用途には使用しないでください。
- グラビティスタンドはどこにも固定されていません。近くを通る時にはスタンドや自転車を引っかけたりしないように注意してください。
- グラビティスタンドは少々揺れくらいでは転倒しないよう十分な安定性を保つよう設計されていますが、万一の巨大地震などで転倒したりしないよう、付属のタイラップでスタンド上部を壁面に固定してお使いください。
- 脚が接地する床面はきれいに清掃し、砂埃など摩擦抵抗を減らすようなものはあらかじめ取り除いてください。紙や板などを敷くこともおやめください。
- 白色などの淡色フレームではフックが密着することで稀に色移りして黄変することがあります。それを防止するためにはフック内側に短く切ったバーテープを貼ったりフック全体をバンデージなどで巻いて、フレームとフックとが直接触れないようにします。
- 本商品には1年間のメーカー保証が設定されています。これはメーカー側に責任のある設計上のミス・製造上の不手際による不具合を補償するものです。ユーザによる誤った使い方やボルトの斜めねじ込み・弊社の許可を受けない改造・天災等による破損や、輸送による破損などは保証の範囲外となります。詳しくは添付の「製品保証規定について」カードをお読みください。また最新情報については弊社ウェブサイトをご参照してください。

お問い合わせ先

製品について不明な点や不具合がある場合は、まずお買い求めになったショップにご相談ください。

<製造・販売元>

株式会社 箕浦

〒503-2305

岐阜県安八郡神戸町神戸 1197-1

Phone (0584) 27-3131

Fax (0584) 27-7505

Mail infodesk@minoura.jp

Web www.minoura.jp

日本製